

丸の内物流TDM実証実験結果

平成14年3月29日
丸の内物流効率化実行委員会

当実行委員会では、去る2月1日から28日までの1ヶ月間にわたり、丸の内2丁目において実証実験を実施しました。現在事務局において詳細な「効果検証」を進めており、早急にとりまとめて参ります。今般は、実証実験の終了に際し関係者において合意した基礎的な事項についての「実行委員会アピール」の発表と併せて、実証実験の結果を「速報」として、とりまとめましたので報告致します。

1. 実証実験の概要

(1) 実施主体

丸の内物流効率化実行委員会

(東京商船大学・高橋洋二教授(委員長)、豊橋創造大学・石田宏之教授(副委員長)、西濃運輸(株)、佐川急便(株)、日本通運(株)、福山通運(株)、ヤマト運輸(株)、カンダコーポレーション(株)、大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会、三菱地所(株)、(社)東京都トラック協会、東京路線トラック協議会、東京都、千代田区、警視庁、(財)東京都駐車場公社)
(オブザーバー: 関東運輸局、関東地方整備局)

(2) 実施期間、実証実験対象地区

実験期間: 平成14年2月1日 ~ 2月28日

対象地区: 丸の内2丁目の2街区・5棟(古河ビル、三菱商事ビル、丸ノ内八重洲ビルの街区、三菱重工ビル、三菱ビルの街区)

(3) 共同配送幹事会社

西濃運輸(株)、佐川急便(株)、日本通運(株)、福山通運(株)、ヤマト運輸(株)、カンダコーポレーション(株)の幹事会社6社

(4) 共同配送への参加事業者

幹事会社6社以外に「特積事業者」14社、「区域事業者・自営事業者」6社、合計20社が参加登録

(実験対象エリア)



(お問い合わせ先)

丸の内物流効率化実行委員会・事務局 担当:水口、金城

TEL 03 - 3287 - 5390

FAX 03 - 3211 - 7675

2. 実証実験結果速報

【環境対策】

(1) 低車高の環境自動車等(CNG車等)10台による共同配送を実施

本実証実験においては、幹事会社6社の協力のもと環境負荷の低減に有効な環境自動車を10台投入して、

- 1) 営業拠点から実験対象地区(平均約6.8km)
- 2) SP(ストックポイント)から実験対象地区(約500m)

間の共同配送を実施した。

環境自動車(CNG車)は既存のディゼル車と比較してNOx(窒素酸化物)の排出量は約1/10に低減、PM(浮遊粒子状物質)の排出量はゼロ

(2) 特積み、区域、自営を含む19社の連携による共同配送を実施

本実証実験は、幹事会社6社による共同の貨物配送に特積み、区域、自営の13社が幹事会社の営業拠点及びSPに荷物を持ち込み、参加事業者全体の総走行距離を短縮・対象地区への流入貨物車両数を削減することに努めた。

SPは、参加事業者の営業拠点と対象地区間に立地

【物流効率化対策】

(1) 幹事会社6社の連携により約7400個の貨物の共同配送(SPから実験対象地区間は約1600個)を実施

本実証実験においては、2月1日から28日までの19日間(土・日・祝日を除く)に約7,400個と1日平均約400個の貨物の共同配送を実施した。

(2) 幹事会社6社の連携により全てのビルを対象に縦持ち共同配送を実施

本実証実験においては、全てのビルに合計12名の縦持ちスタッフを幹事会社6社の連携のもと配置し、地下駐車場での駐車時間の短縮及び重複するビル内貨物配送の回避、貨物用エレベーターの有効利用等物流効率化を目指して、我が国で初の、複数の事業者の連携による効率的な縦持ちの共同化を実施した。

取扱貨物個数

合計(19日間)	約7400個
1日平均	約400個
内、SPでの取扱量	約1600個
1日平均	約90個

【駐車マネジメント対策】

(1) 地下駐車場における荷捌きスペースの拡充等により地下荷捌き駐車場利用台数が約1.4倍に拡大

本実証実験においては、地下荷捌き駐車場の利用促進を誘導するとともに、地下駐車場における荷捌きスペースの拡充等を併せて進めた。この取り組みにより、実証実験前と比較して実証実験中においては、地下荷捌き駐車場の利用台数は約1.4倍に拡大した。

地下荷捌き駐車場利用台数(AM7:00～PM8:00まで)

	宅配	郵便	その他貨物	合計
1月25日(A)	70	20	104	194
2月22日(B)	139	31	101	271
B/A	1.99	1.55	0.97	1.40

(2) 車両誘導員等による路上駐車抑止と地下駐車場への誘導により路上駐車台数は、貨物車、一般車ともに約1/2に減少

本実証実験においては、貨物車のみならず一般車を含めて路上駐車抑止と地下駐車場への誘導を実施した。

その結果、路上駐車車両の台数は、貨物車両及び一般車両ともに約1/2に減少した。

路上駐車台数(AM8:00～PM5:00まで、5分以内の停車車両を除く)

	貨物車	一般車	合計
1月25日(A)	552	406	958
2月22日(B)	280	188	468
B/A	0.51	0.46	0.49